

「すみだ健康づくり総合計画」 進捗状況（概要版）

令和 7 年 8 月 4 日
墨田区保健衛生協議会（資料 3）

計画の期間・位置づけ

1 計画期間

2016（平成28）～2025（令和7）年度までの10年

2 計画の位置づけ

国及び都の健康や医療に関する計画等を捉え、区の上位計画にあたる「墨田区基本構想」、「墨田区基本計画」の健康に関する施策及び基本的な考え方を踏まえながら、区民の健康づくりに関する最上位の計画としている。

3 計画の中間改定

令和4年3月「健康寿命をのばし、誰ひとり取り残さない『健康長寿日本一のまち』の実現」を掲げた後期計画を策定した。

基本目標

日常生活のデジタル化、データヘルスの促進、少子高齢化等の社会情勢を踏まえ、また持続可能な開発目標（SDGs）の取組を施策に取り入れて後期計画を策定したことに伴い、基本目標を再設定し、4つの基本目標と28の基本施策とした。

【後期計画基本目標】

- （1）ライフコースを意識した健康づくりの推進
- （2）包括的な親と子の健康づくりの推進
- （3）支えあい、自分らしく生きることができる地域づくり
- （4）安全・安心な保健・医療体制及び健康を支援する地域環境の整備

令和6年度事業の評価（達成度）

A：計画通り実施し、すみだ健康づくりの視点において効果を発揮した。
B：計画通り実施したが、すみだ健康づくりの視点において課題が残る。
C：計画に遅れが生じている
その他：計画の見直しが生じている。

目標	事業数	評価			
		A	B	C	その他
基本目標 1	74	70	2	0	2
基本目標 2	43	43	0	0	0
基本目標 3	63	61	0	0	2
基本目標 4	66	64	1	0	1
合計	246	238	3	0	5

「B評価」「その他」の事業の状況

事業名	目的・内容	6年度実績	評価・方策
健康的な食環境づくり -27	健康の基本となる食環境について、区民の中食や外食の利用が多く、健康な食を提供する区内飲食店を増やし、その取組を見える化することにより、「自然と健康になれる持続可能な食環境づくり」を推進します。	コロナ禍を経て、食環境が多様化し、年代によっても変化している。多様性に合わせた食品関連事業者等との連携が不十分だった。	【評価】その他 事業対象や方向性等を再考する。区民が健康づくりに取り組みやすい食環境の整備に努める。
成人歯科健康診査の実施 -39	20～70歳（5歳節目）の区民を対象に歯科健診を行い、むし歯や歯周病等の予防と早期発見、適切な時期での治療を推進し、健康の保持・増進を図ります。	健診票送付数 43,120件 受診者数 4,982件 受診率 11.6% 受診率の向上が課題	【評価】B 受診勧奨（はがき、LINE、区報）を行い、早期受診、早期治療、かかりつけ歯科医の定着を促進する。継続して受診しない理由を調査する。
リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する普及啓発 -65	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）について、学校や助産師養成所、関係者と連携して、普及啓発を行います。	【すみだ人権同和・男女共同参画事務所】 ・区のホームページに掲載するとともに、共生社会推進センターでのパネル展示により、啓発を図った。 【健康推進課】 ・医療関係者、助産師養成所、関係各課と連携して普及啓発に努めた。	【評価】B 推進協議会の運営実施、オンライン相談支援事業の実施、普及啓発に努める。 プレコンセプションケアの考え方が十分に浸透しているとは言えないため。
地域・職域連携推進協議会（仮称）の設置 -41	働く人のライフスタイルの多様化に対応し、効果的・効率的な保健サービスを提供できるよう、区や区内事業者、医療保険者等関係者の情報共有と連携体制の構築を図ります。	・健康チャレンジ宣言 19社 ・健康経営セミナー 2回 ・健康経営サポーター 6社 ・すみだ健康経営顕彰2社	【評価】その他 庁内連携や関連企業との連携を深め、区の現状に合った会議体設置の検討を行う。
事業継続計画の策定・更新 -44	災害等発生時に、緊急対応業務や区民生活の維持などの真に必要な業務への資源集中を目的に、事業継続計画を策定・更新します。	健康危機対処計画等の策定を踏まえて検討する必要があるため、事業継続計画（新型コロナウイルス感染症対応版）の更新は行わなかった。	【評価】B 事業継続計画（新型コロナウイルス感染症対応版）の更新については、新型インフルエンザ等対策行動計画の改定（R8）を踏まえて策定を進める。
こころの健康相談の実施（-50）、ウィズ・コロナの自殺対策（-37）として実施されていた「コロナこころの電話相談センター」はコロナウイルス感染症が5類に移行したことにより令和5年度に設置終了 評価：その他 区民の健康度評価研究事業（-61）は令和5年度に事業終了 評価：その他			

主な事業の実績（令和6年度）

【基本目標1】ライフコースを意識した健康づくりの推進

（1）被保護者の健康管理支援事業の実施＜ -6＞

・令和6年度は健診受診者等への個別支援を行う保健師1名新規で配置し健康支援を行った。

（2）第2期がん対策推進計画の策定

・令和7年4月から令和13年3月までの6年間の計画を策定した。

（3）乳幼児歯科健康診査の実施＜ -42＞

・4歳児歯科健康診査 429人 23.2%

【基本目標2】包括的な親と子の健康づくりの推進

（4）出産・子育て応援事業＜ -1＞

・妊婦面接及び育児パッケージ配布を実施した。配布数：2,618組
妊婦面接の実施：2,593人（うち、支援プラン作成件数497件）

（5）産後ケア事業＜ -8＞

・利用者実績 延 宿泊型 385人 1341日 日帰り型 307人 327回
外来型 649人 842回 訪問型 381人 426回

（6）すみだいきいき子育てガイドブックの発行＜ -13＞

・2023・2024年度版を配布した。
・2025・2026年度版を作成した（2年に1回改版）。

【基本目標3】支えあい、自分らしく生きることができる地域づくり

（7）認知症になっても生活しやすい環境づくりと社会参加支援＜ -8＞

・認知症カフェの開催：24回、認知症カフェ認定事業の実施：2か所
・認知症地域支援推進員会議の開催：12回
・認知症サポーター養成講座の実施（学校・地域・企業等）：106回
・認知症サポーターステップアップ教室（全4回コース）を開催。

（8）在宅リハビリテーション支援事業の実施＜ -9＞

・在宅支援リハビリテーション事業を実施した。臨時相談会2回、区民公開講座2回、利用人数24人

（9）食育に関する普及啓発＜ -52＞

・食育フェス（令和6年19日～23日実施）や食育推進全国大会（令和6年6月1日、2日参加）等の場を通して食育に関する普及啓発を行った。

【基本目標4】安全・安心な保健・医療体制及び健康を支援する地域環境の整備

（10）エイズ相談・検査の実施＜ -7＞

・通常検査のほか、7月と12月即日検査を実施（128件）した。

（11）自主管理の推進（ -17）

・HACCPに沿った衛生管理を支援するために食品衛生自治指導員による自主点検表の確認を実施（121件）した。

（12）新保健施設等複合施設の整備＜事業番号 -58＞

・新保健施設の建築工事完了、11月5日開設した。付帯設備、施設運用・管理の検討、新しい働き方の検討、移転準備・作業等を行い、総合的な保健施設等複合施設として整備した。

令和6年度の総合評価

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へと移行したことに伴い2事業の内容の変更があった。がん検診受診率の向上のために受診方法や勧奨方法の見直しを実施して効果が見られている健診もあるが、全体的には受診率は横ばいのため、引き続き受診勧奨の工夫を要している。

また、「こどもまんなか すみだ」の中で、さらなる子育て支援の充実が求められており、妊婦健康診査や産後ケア事業の充実を図った。

令和7年度の主な取組

（1）健康づくり総合計画の策定

・健康長寿延伸のため、区民、関係機関、外部委員の意見を踏まえ次期計画を策定する。

（2）すみだ保健子育て総合センター1周年記念イベントの実施

（3）がんの普及啓発＜事業番号 -18＞・がんの相談・支援体制の整備＜事業番号 -21＞

・（**拡**）パンフレットの作成・配布（がん防災）
・（**拡**）若年がん患者の在宅療養支援

（4）産後ケア事業＜ -8＞

・（**拡**）実施機関を拡充し実施する。令和7年度から宿泊型の利用者負担額1日当たり2,500円（最大7日間）減額して実施する。

（5）経過観察健診・経過観察心理相談の実施＜事業番号 -21＞

・（**新**）5歳児健康相談の実施

（6）包括的支援体制整備事業＜事業番号 -59＞

・（**拡**）地域福祉プラットフォームを区内に新規で常設1か所増設する。また、出張プラットフォームを随時行う。

（7）環境衛生関係営業施設に対する監視指導の実施＜事業番号 -28＞

・（**拡**）環境衛生関係営業施設の監視指導を実施するほか、住宅宿泊事業（民泊）届出住宅の調査指導も実施する。

計画の推進に向けて

引き続き、健康長寿のまちづくりとSDGsの実現に向けた施策に取り組み、次期健康づくり総合計画の策定を行う。

また、健康に関するデータの活用等を行い、エビデンス（科学的根拠）に基づいた事業展開を進める。